

4. 河川情報の提供，地域や関係機関との連携等に関する事項

(1)河川に係る調査・研究等の推進

- 継続的に水文観測を行い，データを蓄積して，河川整備に役立てます。
- 動植物の生息・生育環境の調査・研究を関係機関の協力を得ながら推進し，これらの成果の有効利用が図れるよう努めます。

(2)河川情報の提供

- インターネット等で，河川事業により整備された施設を紹介するとともに，河川に関する自由な意見を承ります。また，パンフレットや各種イベント等で河川事業や施策をPRし，これらについて地域住民の理解が得られるよう努めます。
- 災害による被害の軽減を図るため，全県下を対象として広島県テレメータシステムにより県内一円に配置された観測所で雨量・水位などのデータをリアルタイムで収集し，表示・記録を行うとともに，これらデータを管理し，水防警報など必要な対策・支援を迅速に行います。また，広島県防災情報システムに情報提供し，関係機関をはじめ広く県民の方々にも情報を公開します。

(3)地域や関係機関等との連携

- 樋門や排水機場の操作については，近接する福山市の下水ポンプ施設との連携が必要になることから，関係機関等と協力して適切な操作が行えるよう努めます。
- 手城川本川及び支川や水路に設置されている多数の農業用取水堰については，流域の浸水氾濫を軽減させるために適切な管理と操作が必要となることから，水利権者や地域住民との連携を強化していきます。
- 手城川の利水については，流況の把握，土地利用の変化に伴う灌漑面積や取水量等の利用実態調査を行ったうえで，水利権者や地域住民及び関係機関と連携し水利利用のあり方について検討していきます。
- 手城川の環境については，地域住民や関係機関と連携し，手城川における水環境のあるべき姿，市街地における親水性を活かした安全で快適な河川空間利用などについて，検討していきます。
- 治水，河川利用及び景観などの河川環境上の適正な河川管理を図ることに支障が生じる場合は，地域住民や関係機関と連携して対応します。
- 雑排水対策など周辺住民の取り組みや下水道事業など関係機関の施策等と協力し，水質の改善を進めます。また，油の流出など水質事故が発生した時は，事故の状況の把握，関係機関への連絡，河川や水質の監視，事故処理等について原因者及び関係機関と連携して対応します。
- 流域の視点にたった適正な河川管理を行うため，管理上影響を及ぼす開発行為については，必要に応じて流出抑制対策を事業者に指導します。

- 良好な河川環境を創造するため、許可工作物の新設や改築にあたっては、施設管理者に対して治水上の影響を考慮の上、環境の改善にも配慮するよう指導します。
- 超過洪水に対応するため、水防関係機関と密接な連絡を保つとともに、水防活動を指導・応援します。また、異常渇水時には関係機関と連携し、円滑な渇水調整を行うように努めます。
- 存在感ある川づくりを図るため、地域のまちづくりと調整し、観光施設等を活かした川づくりを目指し地域住民や関係機関との連携を強化します。
- 親しめる川づくりを進めるため、河川に関する広報活動により地域住民の河川への関心を高めるよう努めます。

策定日及び告示日

策定日	平成 16 年 3 月 17 日
告示日	平成 16 年 4 月 22 日

「本書に掲載した下表の地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の 2.5 万分の 1 地形図を複製したものである。(承認番号 平 15 中複 第 317 号)」

ページ	タイトル
3	手城川流域概要図
5	平成 7 年 7 月洪水による浸水状況図
7	手城川流域の BOD 平均値の推移と流域内の主な空間利用地点
12	対象河川及び河川改修区間位置図
14	平面図